

第7回

人

～人を描くということ～

美術教育監修・執筆

上野行一

人を描くことが苦手だ、という人は少なくない。もしかしたら、正確に描かなければいけないという思い込みが邪魔しているのかもしれない。その人の特徴をとらえて自由に描くことができたら、絵の楽しみは増大する。今回は、クロッキーや似顔絵などの手法、人の描き方は、国・時代によって違うこと、特徴を見つけ、描くこと、などを学ぶ。

学習前
チェック!

古今東西の人物描写や肖像画を調べてみよう。思いのほか多様な描き方があることに驚くことだろう。

人の体を知る

人を描くということに対して、私たちはさまざまなイメージをもっている。石膏デッサンのように正確に描くことを思い浮かべる人もいれば、アニメのキャラクターのように目や体の一部を強調して描くことを思い浮かべる人もいるだろう。

番組で紹介するのは、短時間でおおまかに人の形の特徴をとらえて描くクロッキー。人のしぐさや表情、まなざしなどからは、思いや感情が伝わってくる。それらをとらえて、その人らしさを表すことができるクロッキーを試みてみよう。

人の描き方は国・時代によってちがう

人の描き方に正解やルールはないが、時代や社会の文化によって多くの人に支持される描き方はある。

様式化された人の描き方にはその国・時代の文化や思想が反映されているということもできる。日本の大和絵が引き目鉤鼻やまとえびめかぎばなと呼ばれる表現様式であるのも、その様式を支持する基盤があったからであり、人の顔はそのように描くものだという共通認識がないと成り立たない。様式を理解することは、国や時代の文化や思想を理解することにもつながる。

特徴を見つけて誇張して描く

似顔絵は人の性格や特徴を際立たせて描く表現方法だ。クロッキーと似た手法もあれば、大げさに誇張したカリカチュアなどの手法もある。特徴をとらえて誇張して描く際に気をつけたいのは、似顔絵を描く相手の人格や感情だ。相手の特徴を強調して描くことで相手が喜んだり、その逆の感情をもつこともある。身体の特徴をどのように思っているかは本人次第。特に思春期の自分の身体についてデリケートな感情をもつ相手の似顔絵を描くときは、相手とコミュニケーションをとりながら礼を失することがないよう、心がけたい。